

戦争と平和について

読谷中学校二年四組 當山 一朗

日本の歴史や世界の歴史の中で、77の乱や77の戦いと昔から戦いがあったことが分かります。僕たちの住む沖縄でも戦争を体験したおじいさんやおばあさんの話を聞くことも多いです。二度とくり返してはいけないという内容だったはずなのに、最近また北朝鮮のミサイルの話題が絶えず、戦争が起こりそうなニュースをよく耳にします。

僕は社会の歴史の授業のとき戦いの目的は天下をとることだと学習しました。昔は、戦いに勝つことで権力を示していました。今はちがいます。法律という大きな決まりや、みんなが平和に過ごせるルールをつくり、強い者が支配するのではなくて、平等に暮らせる世の中になりました。それで、日本国内での地域の争いはなくなりました。僕は、これまでつなげてくれた人たちをほこりに思っています。そして、この平和な時代に生まれてきて

良かったなと思います。国と国同士の戦いも
暴力などで解決するのではなく、ルールを決
めて、それをみんなが守り、何か問題が起き
たときは話し合って解決すれば、仲の良い平
和な世界になると思います。戦いは、ささい
な小さいケンカからはじまることも少なくあ
りません。ケンカをすると、暴言の言い合い
になったり、暴力をふるってしまったりして
人を傷つけてしまい、争いに発展します。た
まにぶつかりあったりするのも大事だけど、
一方的に相手を傷つけるのは何の解決にもな
らないと思います。相手を傷つける争いをな
くすために、相手や他人の意見を受け入れて、
自分の言いたいことをしっかり言って、信頼
関係を築くことが大切だと思います。そうす
ることです。争いは少しでもなくなると思いま
す。みんなが心がければケンカはとも減る
と思います。ケンカをなくすことは、「平和
への第一歩だ」と思います。

僕たち一人一人の力はまだ小さくて、ア

リカや北朝鮮など国と国の問題は大人たちに
まかせるしかないけど、平和を願う気持ちに
意味があると思います。国と国、組織と組織
も人の集まりです。争いで解決するのではな
く、話し合う気持ちを持っていきたいと思っ
ます。